

授業概要

道徳とは何か。そもそも道徳を教えることは可能なのか、という根源的な問いを踏まえたうえで、道徳（教育）の歴史・現在・現場、地域での実践などを理解する。ディスカッションにより自分なりに理論を消化する。また、実際に道徳授業の実践をビデオ教材を使って研究。指導案を作成し、模擬授業に取り組むなど、理論のみでなく実践も取り入れる。学校の授業見学等、学外授業も取り入れる。

授業計画

第1回	道徳性の理論（1）
第2回	道徳性の理論（2）
第3回	道徳教育の歴史
第4回	地域の道徳教育
第5回	体罰問題
第6回	生命倫理問題
第7回	学校現場での道徳教育1
第8回	学校現場での道徳教育2
第9回	生徒指導
第10回	指導案作成の手順
第11回	学習指導要領
第12回	指導案の作成
第13回	模擬授業体験
第14回	模擬授業体験
第15回	模擬授業体験
第16回	定期試験

到達目標

道徳理論の理解。道徳教育の思想と歴史を理解する。その上で、自分なりの道徳教育観を見出し、授業等実践に取り組めるようにする。

履修上の注意

数回はディスカッションを取り入れます。自分なりに考え、積極的な受講態度を期待します。基本的に全回出席してください。レポーター制で議論し、指導案の作成や模擬授業も行います。遅刻は3回で1回の欠席。20分以上の遅刻は欠席扱いです。授業の3分の2以上の出席で評価の対象になります。

予習復習

復習として、授業に関連することを、ネットだけではなく、本で調べる習慣をつけてください。

評価方法

試験 50%、発表 30%、授業態度 20%

テキスト

プリントを用意します。